

平や小堀流師範代木村義雄がいましたよ。米光はまだ元気にやっているんですよ。名実ともにまさに人間国宝ですな。

### 私の家族

五高を卒業し東京大学入学のため上京する時には、すでに両親はありませんでした。兄は松村武雄という男で文学博士でした。学問一筋の男でね、一般社会には努めてかわりを持たぬ人でしたよ。私はこの兄の家から大学に通ったわけです。兄弟は四人いたんですがね、二人死にまじって、兄と私の二人でした。私は旧姓松村ですが、絶家した親類である高野家を継いだんです。父は県庁の役人で地方課長をしていたように思います。

### 法曹界に入る

私は卒業して何になろうかと悩んでいました。役人、司法官、外交官になろうとも考えましたよ。その後、裁判官になろうと一念発起しましたが、生来の虚弱体質のため、身体検査が不格になりましてね挫折したわけです。

当時、熊本の先輩で岡本武尚という人が東京で弁護士を開業していらつしゃって、その甥の人と私は友人でね、先生には大変によく可愛がってもらったものです。しいて言えば、そんなことが弁護士を志すきっかけになったように思います。

大正四年大学を出て、岡本事務所にて二年程いましてね、独立したのはそれから三年後の大正九年です。南佐久間町に自宅兼事務所を構えました。

### 「跣足舎」

大正九年事務所開設当時、熊本の先輩で後の文部大臣（小橋一太）、後の大審院判事（横田定雄）、教育界の重鎮（赤星典太）さんらがいましたね。中の一人が、事に当っては下駄が揃わない時には、片一方は下駄、残る一方は裸足でも飛び出していかなければならないという話がありましてね、私はそれに対して「先生、私は事務所開設したてで金もないから、下駄もそろりもありませぬ。裸足で飛び出すところですよ。」と言ったんですよ。そうしたら横田先生が事務所に「跣足舎」という看板を立ててくれたんですよ。「無一文で裸足の出発」という意味でね。

現在、旧丸ビルに高野・樋口事務所の看板をあげています。今でも身体の調子が良ければ週二回程度顔を出します。仕事は昭和二十六年以来私の事務所に行った上通町金龍堂の二男坊、樋口俊二という人にまかせていますよ。

### 極東国際裁判

私はこれまで、帝人贈賄事件、神兵隊事件、極東裁判などを手がけてきましたけど、軍事裁判以外は、何らかの形

で熊本県人が関係していたための弁護です。私は本来、民事畑なんです。軍事裁判は質屋興宣が大学の同級生ということでね……。

軍事裁判はね、ある意味では本場の裁判ではなかったですよ。有罪を決めるためのものではなかったからね。その力の前にどうしようもありませんでした。裁判長はオーストラリアのウェップという人でね、この人は公平な裁判官だったんですよ。私が少々おしゃべりだもんですから話が論点からはずれると、何度かたしなめられたものです。検事にはコミンスカーというすごい人がおりましたよ。

元軍務局長に武藤章という有名な人がいましたね、宣告されて処刑の時、二階の傍聴席の妹をべつして穴の中に入れてゆきましたがね。これが私の頭の中に今でも残っていますよ。悲惨だったですよ。

### 私の性分

私は厭だつたけれども、若い時から「爺さん」と呼ばれていました。大へんに世話好きだったらしいですね。

私は、どうでも大将になろうなんて気は全くありませんでしたけれどね、人からおだてられて結局は主だつて人の世話をしてみたいですね。

反面、非常に頑固でしてね。人からもよくそう言われますが、これについては

自他共に認める場所ですからね。あえて弁解はしないことにしていますよ。

例えば、飛行機で旅行すること、自家用車を持つこと、冷房施設を入れることなど、今の人の殆んどが抵抗なく受け入れてますね。でも私は何んでも便利で快適であれば良いという生活態度を拒否してきました。意地っ張りですね、言い出したら聞かないという性分なんです。それでも特にトラブルもありませんでしたよ、相手に高野とは、こういう男なんだという認識があるためでしょうね。

また、私は負けずぎらいでしてね。負けるのがシャクにさわるから基石は持ちません。プロ野球も巨人が負けだすとスッチを切つてしまいますよ。アッハハ私はね、役職は嫌いでもね、大抵は断わっていましたが、国家公安委員だけは十年間やりましたよ。弁護士と両立できるということもありましたがね、まわりから国務大臣級だとおだてられましたね。ところが実際はだまされたようなもんでね……。

### 真面目一方……

私には、特別人生訓みたいなのはないんです。ただ今日まで自分にも他人にも誠実に生きてきたということです。私の本来の性格が真面目一方ということらしいですね。アハハ……どうもそういう評価があるらしいですよ。

他人の面倒、とくに熊本の後輩の人の人にすすめています。

お世話はできるだけしたつもりです。

後輩たちはよく私宅をたずねてくれました。なかにはお金の無心に来た人もいました。後輩が先輩にあるていどの厄介をかける——これは明治から大正にかけての一つの「美風」みたいなものじゃなかったのでしょうか。

しかし、私が酒を好きませんので、酔ってたずねてきた人は、いつも玄関私いにしました。

### スポーツを楽しむ

今、九州全県の体育大会はやってますか昔は五高の武夫原に集ってやりましたよ。

私はね、身体は弱かったけれども、テニス、柔道、剣道、野球、なんでもやりました。特にテニスは選手だったんですよ。二十歳前に父が亡くなりましたね、その後緊張してスポーツをやめました。今思うと、それから一段と身体を悪くしたようです。

### 健康に留意を

私は現在、自分の健康に自信はありません。かえって、昔より健康なくらいですけど、五十歳までの生命と自他共に認めていたものが今日に至りました。数人を残して同級生の殆んどがもうおりません。私は残された生命を出来るだけ健康にと、その管理には十分に配慮をしているつもりです。いまでもときには水風呂に入ったり、玄米食をとったりしています。医者嫌いでもね、注射はしないことにしているんです。

### 熊本県人

熊本県人は、昔から「クワガタ」ばかりだとよく言われますね。「大将ばかりで兵卒がいまい」といふことです。みんな、俺が俺がという印象があります。鹿児島県人が逆にみんな盛立立ていくという県人性があるのとは対照的ですね。

という長所もあるように思いますよ。

昔、熊本と鹿児島はよく喧嘩したものです。濟々疊の生徒なんか、柔道着を着込んで決死隊よろしく派手にやっていたよ。

### 熊本を想う

藤崎宮の大祭は今でもやっていますか。よく見に行つたものです。青竹で走る馬の尻を打つんですね。負傷者がたこともあるんですよ。威勢のいい祭りですね。今でも昔の形が残っていますから懐かしいですね。

五、六年前、熊本の都市計画で上河原の墓場が移転を余儀なくされた時、久しぶりに熊本に行つてきました。阿蘇・天草に足をのびましたが実にすばらしい景観です。

### 熊本の観光

熊本は産業都市ではありませんね、商売はへたですよ。

せっかく、阿蘇・天草をかかえて観光地としての立地条件は備えていますからね。将来も観光都市として伸びてゆくべきでしょうね。合わせて阿蘇原野を利用した畜産振興もやらねばならぬでしょうね。天草には五橋完成後行つてきました。阿蘇・天草の観光ルートを私は東京



私もそうなんです、熊本県人は頑固で意地っ張り、間違つても自説を曲げないという短所があるかわりに、損益を度外視してしんぼう強く何事もやりとおし、また正義感が強い

の人にすすめています。

### 熊本の水

熊本県が誇りうるものに水がありますね。これは良質できれいで、しかもうまいものです。市民の飲用水は殆んど地下水だということを聞いていますが、他県には例がないのではないですか。

水前寺公園・八景水谷・江津湖の水がきれいなことは知っていますが、江津湖は二十八年災害後汚くなったそうですね。

「水」は熊本の財産です。どうか熊本のみならず「水」を大事にしてください。

### 熊本県近代文化功労者

#### となる

ご承知だと思いますがね。今度、熊本県で私を近代文化功労者として表彰していただきました。私は弁護士という自分の仕事をただ一生懸命にやってきました。功労に値するようなことは何もやっていませんのに。